



表彰の後、晴れやかな表情でステージに並ぶファイナリストと審査委員

「日本全体を元気に」 田中仁財団理事長
ジェイアイエヌ社長
田中 仁氏(実行委員長)

このイノベーションアワードが協賛社はじめてたくさんの皆さんにご協力いただき、年々拡大していることをうれしく思う。群馬の開業率の伸びが全国トップになり、群馬全体が盛り上がっている。きょうは石川や岡山から視察に来ており、この活動が全国に広がり、日本全体が元気になればいい。

「継続は力なり」 コシダカホールディングス社長
腰高 博氏(実行委員)

4回目を迎え、交流会の出席者も増え、盛り上がりを実感している。私も一つの事業を始め、東証一部に上場したが、まだまだ事業拡大への意欲は誰にも負けないし、きょうの皆さんの発表があらためて刺激になった。継続は力なり。10年は続けるつもりなので、引き続きご支援をお願いしたい。



「やる気が力になる」 相模屋食料社長
鳥越 淳司氏(実行委員)

きょうプレゼンを聞いていて思ったのは、チャンスはどこにでも転がっているということ。多くの人はそれに気付こうとせずに前に進んでいるが、ここにいる人たちは何でもやる気になれるまでと信じて取り組んでいる。それが力になり、ビジネスになり、群馬を盛り上げているのだと思う。

「結果を出して」 オープンハウス社長
荒井 正昭氏(実行委員)

群馬がすごく好きで、また田中社長の志に賛同し、(実行委員に)参加した。先ほどの審査会では誰が大賞か、喧々譁々の議論になった。言っておきたいのは、大賞、それはおめでたいのですが、大賞にならなかった人には、「俺のことをあなたたちが評価するな」くらいの思いで、結果を出してほしい。

「群馬の芽 大地に」 上毛新聞社社長 北村 幸雄氏(実行委員)

群馬発のイノベーションアワードも4回目を迎えることができた。「だんだん良くなる法華の太鼓」ではないが、皆さまのお力添えのおかげで、群馬の芽が大地にしっかりと根を張って、大きくなっていくことが目に見えてきている。入賞者との交流を通じて、有意義な時を過ごしてほしい。

初の試みとして開催されたイノベーションマーケットには、群馬イノベーションアワードの歴代ファイナリストたちが新製品やサービスを紹介したり、県内で活動する工芸家らが作品を販売する約60ブースが並び、大勢の来場者でにぎわった。

過去3年間のファイナリスト10人が、アワードで発表したビジネスプランの発展型や実



さまざまなブースが並んだマーケット

◆共催・特別協賛社 実行委員の交流会あいさつ◆

群馬発 革新の息吹



モルタル平板に銅を吸着させる実験を繰り返す平塚さん

GUNMA INNOVATION AWARD 2016
ファイナルステージ特集

C O₂固定化など 「一石三鳥」に

除草効果を持ったウッドチップ
モルタル平板の開発

平塚育翔さん(群馬大大学院)

「景観の維持に貢献するだけでなく廃棄物系バイオマスの有効活用、C O₂の固定化という、まさに「一石三鳥」の製品です。大賞に輝いた平塚さんはプレゼンでモルタル平板の魅力をこう強調した。捨てるしかない「木のかみ」をどう生かすか。所属先の群馬大板橋研究室は12年前から

【プロフィール】ひらつか・いくと 1991年足利市生まれ。県立足利工業高、群馬大工学部卒。趣味は音楽鑑賞と旅行。

このテーマに挑んできた。木の主成分、リグニンに重金属を吸着する効果があることに着目。セメントとウッドチップを混ぜ、重金属に働きかける実験を諸先輩が重ねた。受け継いだ平塚さんは東日本大震災で問題になったセシウムの除去にこの技術を使いたいと考えた。失敗を繰り返すうちに、セシウムはうまくいかなかったが、銅によって植物が光合成できなくなる作用を使って、除草剤材を作る目標を定めた。昨年夏のことだ。

そして今春、北関東産学官研究会からその製品化に向けた取り組みへの助成を受け、基礎実験を開始。数材はどのくらい長持ちするか、銅の混入量はどのくらいが適当か。「10年は腐らない」「効果も長持ちしつづ」。そんな実験結果に支えられ、ファイナル

ワークショップを楽しむ子どもたち



ってもらい、地域で起業する意義について考えてもらおうと、初めて企画した。

このほか、工芸家らのブースには伝統的な技術で織り上げた山ストールや色鮮やかな色彩ガラス細工などが並び、地元食材を使った豚肉料理などを集めたフードコーナーは多くの来場者でにぎわった。

群馬イノベーションマーケット

大賞に平塚さん の除草敷材

4回目を迎えた起業家発掘プロジェクト、群馬イノベーションアワード(G I A)2016(上毛新聞社主催、田中仁財団共催)の大賞は、学生初となる群馬大大学院2年平塚育翔さん(25)のビジネスプランが選ばれた。過去最多の123組がエントリーし、1次書類、2次プレゼンの審査を経て16組のファイナリストが12月3日前橋市のヤマダグリーンランド前橋で3分間のプレゼンを競った。フードや手仕事のブースが集つたイノベーションマーケットを同時開催し、アワードと合わせて会場には4千人が詰めかけた。

平塚さんのビジネスプランは、間伐材を仕込んで除草効果を持ったモルタル平板の開発。除草効果を持ったウッドチップモルタル平板の開発。平塚育翔さん(群馬大大学院)

「景観の維持に貢献するだけでなく廃棄物系バイオマスの有効活用、C O₂の固定化という、まさに「一石三鳥」の製品です。大賞に輝いた平塚さんはプレゼンでモルタル平板の魅力をこう強調した。捨てるしかない「木のかみ」をどう生かすか。所属先の群馬大板橋研究室は12年前から

このテーマに挑んできた。木の主成分、リグニンに重金属を吸着する効果があることに着目。セメントとウッドチップを混ぜ、重金属に働きかける実験を諸先輩が重ねた。受け継いだ平塚さんは東日本大震災で問題になったセシウムの除去にこの技術を使いたいと考えた。失敗を繰り返すうちに、セシウムはうまくいかなかったが、銅によって植物が光合成できなくなる作用を使って、除草剤材を作る目標を定めた。昨年夏のことだ。

そして今春、北関東産学官研究会からその製品化に向けた取り組みへの助成を受け、基礎実験を開始。数材はどのくらい長持ちするか、銅の混入量はどのくらいが適当か。「10年は腐らない」「効果も長持ちしつづ」。そんな実験結果に支えられ、ファイナル

群馬イノベーション
アワード
2016実施体制

主催: 上毛新聞社 共催: 田中仁財団 特別協賛・実行委員: ジェイアイエヌ/コシダカホールディングス/相模屋食料/オープンハウス
後援: 経済産業省/財務省前橋財務事務所/群馬県/群馬県教育委員会/前橋市/高崎市/桐生市/伊勢崎市/太田市/群馬県商工会議所連合会/群馬県商工会連合会/群馬県経営者協会/群馬経済同友会/
協力: NPO法人 ぐんまCSO

【パートナー】糸井商事/冬木工業/石井設計/エムダブルエス日高/岡崎ウレタン群馬/オルビス/共愛学園前橋国際大学/クシダ工業/クライム/グリーンリーフ/野菜くらぶ/群成舎/群馬総合ガードシステム/国際警備/COCO-LO/小林ビジネスセンター/サントリー酒類/システム・アルファ/シムックス/スタイルブレッド/三アジ/双和電業/大栄産業/高崎商科大学/高崎商科大学短期大学部/中央カレッジグループ/西建/NEXUS/ひかり税理士法人/ひなた整骨院グループ/ビーワールド/ファームドゥ/富士パル/プリマベラ/前橋園芸/メモリード/ヨシダ/和光化学
【フィナンシャルサポーター】足利銀行/北群馬信用金庫/桐生信用金庫/群馬銀行/群馬県信用保証協会/しのめ信用金庫/高崎信用金庫/大和証券高崎支店/東京海上日動火災保険群馬支店/東和銀行/利根郡信用金庫/日本政策金融公庫前橋支店/高崎支店/野村證券高崎支店/みずほ銀行前橋支店/高崎支店/みずほ証券高崎支店/三井住友銀行北関東法人営業第一部/三菱UFJモルガン・スタンレー証券前橋支店

